



初期研修・専門研修案内

熊本赤十字病院



先人から受け継いだ 「人道・博愛・奉仕」の精神。 あらゆる活動の原点となっています。

昭和19年の開設以来、時代のニーズに応じた医療を積極的に展開してきた熊本赤十字病院。
常に「人道・博愛・奉仕」の精神をさまざまな活動の基盤としてきました。
これからも、この普遍の理念を原点に活動を続けていきます。

Anyone Anyth



ごあいさつ

熊本赤十字病院には精神科を除くほとんどの診療科が揃っており、年間6万人以上もの救急患者を受け入れている全国有数の症例数を誇る病院です。
こうした環境は、研修医にとって重要な「幅広い疾患に対応できる基本的な診療能力の習得」に最良の場であるといえるでしょう。そして、「スペシャリストである前にジェネラリストであれ」をモットーに全人的な医療を実践していくことで、どのような場でも必要とされ活躍できる、医師としての大きな土台を築くことができます。
医師たちの出身大学はさまざまであり、当院に学閥は一切ありません。
毎朝、全診療科の医師たちが集まりミーティングをしているため、全医師と早くから顔見知りになることができ、診療科間の枠を超えて気軽に相談できる環境です。
働きやすい自由闊達な明るい雰囲気であるため、主体的に医療に臨むことができるのも当院で研修をする大きな魅力といえるでしょう。
また、院内には大浴場やリラクゼーションルームを完備するなど、優れた設備環境が整っていることも特徴です。
採用基準はやる気と熱意です。医師を目指した初心を忘れることなく常に貪欲に学び続け、人間力も磨きながら社会人としても成長してください。
そして、当院のビジョンでもある“人と社会のまさかのときに寄り添うことができる”医師になってほしいと思います。

熊本赤十字病院長 平田 稔彦

総合救命救急センター (北米型 ER)

当院の救命救急センターは、北米型のERです。
「断らない救急」を目指し、24時間365日、1次から3次まで、年間6万人、救急車8千台を受け入れる救命救急センターでの研修に重点を置いています。

ドクターヘリ 基地病院

ドクターヘリ基地病院である当院の出動件数は、
549件／年(2018年度)。
研修医も希望者はフライトドクターと共に搭乗実習を経験できます。



熊本赤十字病院 4 つの特徴

こども医療センター (PICU)

小児救命救急センターの指定を受け、年間2万人以上を診療しています。

PICU(小児集中治療室)では県内外から重症患者を受け入れています。

小児科医、小児外科医で連携を取りながら、24時間体制で診療にあたっています。



医療救援・国際救援

基幹災害拠点病院に指定され、年6回の災害訓練に研修医も参加します。

熊本地震の際は研修医も活躍しました。

また日本赤十字社の国際医療救援拠点病院でもあり、国際救援派遣者数は延287名(2018年度実績)。

多くの職員を教育・派遣してきた実績があります。



症例経験数だけではなく、 充実した福利厚生による 働きやすさも魅力

初期研修医1年次

石井 健裕先生(山口大学出身)

当院は症例数が豊富であり、ベッド稼働率は常に90%以上と高いため、数多くの患者さんと接する機会が多い研修環境です。先生方は教育熱心であるため自然と学ぶ意欲も高まりますし、フォロー体制も万全なため、さまざまな手技を安心して主体的に経験することができます。

さらに、バラエティ豊かで充実した福利厚生も大きな魅力です。職員食堂ではサラダバーもあり、美味しく栄養バランスの優れた定食を朝・昼・晩と食べても1,000円に届かない安さです。トレーニングジムや大浴場も完備されているなど、医師の健康とリフレッシュを考慮した嬉しい設備環境が揃っています。

私の志望は心臓外科医ですが、循環器という狭い範囲だけではなく、幅広く、どんな些細な訴えにもしっかり応えられる医師になりたいですし、そうした医師を目指す環境が当院にはあります。



研修医 の 1日



上級医の先生と回診をもとに患者さんの診療や計画を立てます。自分なりに考えて指示出しや問題点の抽出などを行います。



カルテ記載。サマリーや翌日の検査オーダーを入力します。業務が早めに終わったときは、自主学習をしています。

8:30
医局朝礼

9:00
カンファレンス

9:30
回診

10:00
病棟対応、
カルテ記載、処置

12:00
昼食

13:30
教育回診、講義

14:30
病棟対応、
カルテ記載、処置

17:00
自主学習

19:00
帰宅

内科研修例

休日の過ごし方

同期は全国から集い、みんな個性豊かで楽しい仲間たちです。休日は同期たちとイベントに参加したり、阿蘇や天草にドライブに出かけたりしています。



日々、着実な成長を実感。 メリハリのある研修生活で 雰囲気の良いも抜群

初期研修医1年次

細川 満由先生(東京医科大学出身)

出身地である東京は病院数が多く、患者さんが分散して症例が偏ってしまいがちですが、地方の大病院には地域全体から多様な症例の患者さんが訪れるため、研修先は東京ではなく母親の出身地である熊本県で探しました。当院を選んだのは、救急医療にとても強く、あらゆる症例を研修医がファーストタッチできることに魅力を感じたからです。

雰囲気の良さも抜群で、疑問があれば先生方は忙しなかでも後から時間をつくって教えてくれますし、珍しい症例があれば声を掛けてくださいます。明るく元気な同期たちにも刺激を受けながら、楽しく前向きに医療に取り組むことができ、日々、自分のことができることが着実に増えていることを実感しています。

ぜひ一度見学に来ていただき雰囲気の良さを感じてください。きっと「ここで働きたい!」と思うはずです。みなさんと共に学び、働けることを楽しみに待っています。



研修医
の
1日



外来では妊婦健診の患者さんの予診を行います。週数によってさまざまな検査を行う妊婦健診を通して、妊婦の病態について学びます。



食堂での昼食時は、同期や先輩と情報交換の時間。フレンチを極めたシェフの作る食事が400円で食べられます。

8:30
医局朝礼

9:00
産婦人科朝礼、
申し送り、術前診察

9:30
手術

12:00
昼食

13:30
手術、初診外来問診

16:00
病棟業務、
カルテ記載

17:00
術後
カンファレンス

18:00
病棟業務

19:00
帰宅

産婦人科研修例

休日の過ごし方

休日もしっかり取ることができ、オンとオフのメリハリのある研修生活を送っています。オフは同期の家に集まり、食事会や飲み会をするなどして楽しんでいます。



初期研修プログラム

充実した環境で 理想の Generalist へ！

当院の研修では、研修医は最前線で診療にあたります。common disease はもちろん救急患者のファーストタッチから入院患者まで、初期研修2年間を通して多くの症例を経験することができます。

また、当院では屋根瓦方式の指導体制をとっており、24時間365日研修医は安心して指導医のもとで研修にあたることができます。1年次では、2年次研修医のアシスタントとしてチームで診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として診療にあたります。

教えることは学ぶこと

十分なバックアップ体制

当院の研修では初期研修医の皆さんに救急の最前線に立ってもらいますが、決してひとりにさせることはありません。



1年次～2年次～専攻医～指導医の
3～4枚の屋根瓦方式で研修にあたります。



〈ER 重点〉初期臨床研修プログラム

1 年次

オリエン(2週)

麻酔科(8週)

救急科(8週)

外科(8週)

2 年次

内科系(16週)

救急科(8週)

精神科(4週)

〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

1 年次

オリエン(2週)

麻酔科(8週)

救急科(8週)

外科(8週)

2 年次

内科系(16週)

救急科(4週)

精神科(4週)

Rotation

当院の魅力

1 「ER 重点型」

初期研修医の教育は、救命救急センターを中心に行われます。まずは患者を診る。診たうえで、自分にできることを最大限努力する。そして自分の技量の限界を見極め、他科に相談、あるいは高次医療機関に送るという判断ができるようになる。そのためには、診断のついていない救急患者を数多く診るのが一番であり、年間6万人という日本でもトップクラスの救急患者数を誇る当院の環境は、まさにうってつけです。どの科をローテーションしているときも、2年間を通して救急車対応や救急外来診療を月5～6回程度経験できます。

研修医が最前線で
対応します！



2 「研修会の充実」

当院の指導法は、積極的に治療・手技を経験させる実践主義です。もちろん指導医のサポートと事前のシミュレーションは欠かせません。当院では、研修医が安心して研修できるよう研修会にも力を入れています。各専門医から丁寧なレクチャーを受けて実践に臨むことができます。また、定期的に各分野の有名講師をお招きして「アカデミックセミナー」も開催しています。



豊富な症例数、 各科の垣根が低く相談しやすい



充実した指導環境



毎朝、医局で全診療科の医師が集まり
前日の救急の申し送りをを行います。



Point

科の垣根を越えた最善の医療を
毎朝8:30に全医師が医局に集合し、初期
研修医による当直報告に耳を傾けます。
見学された方からは「科の垣根を越えて
最善の医療をしようとする意気込みが感じ
られる」との感想も寄せられています。



産婦人科(8週)

小児科(8週)

内科(8週)

地域(4週)

選択科研修(20週)



Schedule

産婦人科(8週)

小児科(8週)

内科(8週)

地域(12週)

選択科研修(16週)



～こんな研修会をやっています～

- ・CV穿刺トレーニング
- ・外傷外科医による外傷蘇生セミナー
- ・縫合セミナー
- ・KUMAMOTO GIM
- ・救急医によるERセミナー
- ・シーネ固定研修会
- ・各科医師による朝の講義(1回/週)
- ・2年次研修医による研修医講義(1回/週)
- ・海外医師による教育回診
- ・外国人英語講師による英語での問診レクチャー
- ・各種勉強会(論文の書き方、英語でのプレゼンテーションなど)

医療人としてだけでなく、
一人の社会人として

医師だけに留まらず、病院全体で、社
会に出たばかりの研修医を育てます。
新人研修では、他の職種と合同で
接遇セミナーなどもおこないます。



Generalist

研修医全員に
学会発表のチャンスがあります



専門研修プログラム（新専門医制度）

新専門医制度においては、「内科」「救急科」「外科」「総合診療科」「産婦人科」の5領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備しています。

内科専門研修プログラム

定員 6 名

ローテーション例

1 年次

総合内科(熊本赤十字病院)

内科系(熊本赤十字病院)※1

2 年次

内科系

(熊本赤十字病院)※1

救急科・ICU(熊本赤十字病院)

内科系(連携施設)

3 年次

地域医療(連携施設)

総合内科(熊本赤十字病院)※2

※1 内科系選択は 消化器内科・脳神経内科・循環器内科・呼吸器内科・総合内科から最低 2 ヶ月単位で選択し履修可能
※2 3 年次の総合内科研修は、内科系選択科に変更することも可能



サブスペシャリティ並行研修

3 年次の内科研修 6 ヶ月を、サブスペシャリティ科での研修に変更し、内科専門研修と並行してサブスペシャリティ専門医の取得に向けた研修を行うことが可能です。
また、市中病院での研修中に、より専門性の高い分野を中心的に学ぶことも可能です。

主導権を持って
治療に当たることができる



総合診療科専門研修

定員 2 名

総合内科、小児科、救急科などをローテーションし修得します。総合診療研修では、熊本県内の地域を経験します。

ローテーション例

1 年次

総合内科

2 年次

内科系

3 年次

地域医療(連携施設)

家庭医療専門医の育成

日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療専門医の資格を並行して取得することができます。



外科専門研修プログラム

定員 2 名

一般外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、外傷外科をバランスよくローテーションし、外科専門医取得のための経験を積みます。外科系サブスペシャリティについても専門医の資格取得を目指します。

ローテーション例

1 年次

一般外科(熊本赤十字病院)

一般外科中心

2 年次

外科系(熊本赤十字病院)

外科系
(連携施設)※1

外科系
(連携施設)※1

サブスペシャリティ

- ・消化器外科
- ・呼吸器外科
- ・心臓血管外科
- ・小児外科
- ・外傷外科 等

3 年次

外科系

(連携施設)※1

外科系

(連携施設)※1

外科系(熊本赤十字病院)

※1 3 ヶ月を1コマとし、6～12 ヶ月間、連携施設での修練を行う
連携施設やサブスペシャリティの研修時期や期間は研修到達状況と本人の希望をもとに研修委員会で決定する

専門医要件を満たす十分な症例

年間約2,300症例の手術を行っており、外科専門医要件を満たす十分な症例を短期間で経験することができます。また、診療科の垣根が低いため、3年間のうちに救急科、麻酔科、消化器科、内科、泌尿器科などの研修も可能となっており、専攻医の意見も取り入れながら、自由度の高い研修計画を作ることができます。

基本領域における プログラム連携状況

	内科	小児科	皮膚科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	リハビリ科	総合診療科
基幹施設	●			●		●								●			●
連携施設	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

救急科専門研修プログラム

定員 5 名

Walk-In患者から
ドクヘリの重症患者まで経験！



研修プログラム

総合診療医に必要とされる基本的臨床能力を
の病院と連携し、6ヶ月から1年間の地域医療研修

(熊本赤十字病院)

(熊本赤十字病院)

救急科(熊本赤十字病院)

小児科(熊本赤十字病院)



ローテーション例（ER医養成コース）

1 年次

ER(熊本赤十字病院)

外傷外科・集中治療
(熊本赤十字病院)

2 年次

ER(熊本赤十字病院)

外傷外科・集中治療
(熊本赤十字病院)

選択科
(熊本赤十字病院)

集中治療(連携施設)

3 年次

ER(熊本赤十字病院)

地域医療(連携施設)

選択科
(熊本赤十字病院)

研修カリキュラム

専門研修プログラムはERでの幅広い研修を共通
の核に据えながら、初療を中心にER診療をさらに
深める「ER医養成コース」と総合的な外傷診療に
力点を置く「外傷医養成コース」という特徴ある
2つのコースを選ぶことができます。



産婦人科専門研修プログラム

定員 2 名

当院で、周産期医療、がん診療、鏡視下手術など幅広い経験と症例を経験します。
熊本県内のさまざまな施設と連携を取ることで、生殖医療等さらに専門的な知識を修得します。

ローテーション例

1 年次

産婦人科(熊本赤十字病院)

2 年次

産婦人科(連携施設)※1

3 年次

産婦人科(連携施設)※1

産婦人科(熊本赤十字病院)

※1 3ヶ月を1コマとし、1年～1年半連携施設をローテーションする。(1年半の間に3ヶ月以上の地域医療の経験を積む)

専門医に必要な幅広い経験を積む

手術においては日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医があり、積極的に腹腔鏡下手術を実施
しています。地域周産期母子医療センターにも指定されており、ハイリスク妊娠をはじめ、母体搬送も
受け入れています。

病院概要



医師数

223名

研修医数

初期 **30**名 / 後期 **27**名

指導熱心な先生や、やる気の溢れる同期がたくさんいます。

わからないことがあれば、直属の指導医はもちろん、診療科を問わず尋ねることができます。

病床数

490床

指導医数

66名

専門医数

120名

研修医出身大学

熊本大学、九州大学、鹿児島大学、大分大学、宮崎大学、長崎大学、佐賀大学、久留米大学、産業医科大学、山口大学、広島大学、大阪市立大学、京都大学、名古屋大学、金沢医科大学、東海大学、東京医科大学、東京女子医科大学、自治医科大学など

2018 年度病院実績

1日の平均外来患者数

1,175.9人

1日の平均入院患者数

443.4人

年間手術件数

6,098件

全国屈指の患者数を誇る救急病院で、希少疾患も相当数経験できます。

小児から高齢者、そして軽傷から重傷まで症例は多彩です。

年間6万人を超えるWalk-In患者に加え、救急車、ドクターヘリでの重症患者搬送、災害医療まで経験できます。

募集要項／福利厚生

■身分

常勤嘱託職員

■給与

基本給

初期研修医：1年次300,000円
2年次340,000円

専攻医：1年次(卒後3年次)360,000円
2年次(卒後4年次)420,000円
3年次(卒後5年次)500,000円
その他、時間外手当・賞与の支給あり

■勤務時間

8:30～17:05(休憩50分)

■休暇

年次有給休暇24日(採用年18日)
夏季休暇(1週間連続の年休取得が可能)
慶弔休暇等あり

■社会保険

健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

■健康管理

職員定期健康診断(年2回)
各種予防接種
メンタルヘルスカウンセリング制度

■その他

NPO法人卒後臨床研修評価機構による
臨床研修評価認定
外部研修、学会・研究会参加の機会あり

熊本赤十字病院では、職員みなさんが
仕事以外の面でも安心して楽しく働けるよう、
さまざまな福利厚生を充実させています。

職員食堂、職員用浴室、仮眠室、ランドリー、医局内研修医室
職員用トレーニングルーム、音楽室、リラクゼーションルーム
職員用テニスコート、職員用グラウンド

院内保育所、病児病後児保育室、
近隣保育園の優先入園枠の確保

職員宿舎

(単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩5分以内)

白衣(KC)・スクラブ・携帯電話の貸与制度

互助会、日赤グループ保険

日赤医師賠償責任保険等の各種団体保険割引



さまざまな店舗が出店するフェアも行っているショッピングモール

プライベートも充実

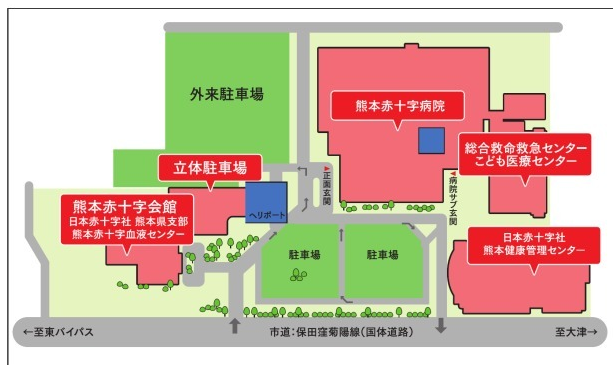


各種部活動・サークル活動があります(野球、ソフトボール、
バレーボール、テニス、駅伝、フットサル、卓球、バスケットボールなど)。
職種の枠を超えた当院の「チームワーク」の源にもなっています。



ローテーション交代時には、研修医間で振り返りやリフレッシュする
時間を設けています。
同期間の仲が良いのも当院の魅力の一つです。

アクセス MAP



公共交通機関によるアクセス

- ◆バスでお越しの方: 桜町バスターミナルから約30分～40分
- ◆JRでお越しの方: JR熊本駅からバスで約40分、JR水前寺駅からバスで約15分
- ◆熊本空港からお越しの方: 熊本空港からタクシーで約30分

病院概要

院長

平田 稔彦

所在地

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号

電話・FAX番号

TEL.096-384-2111(代) FAX.096-384-3939

病床数:490床(一般)

診療科目

内科 腎臓内科 糖尿病内科 リウマチ科 血液・腫瘍内科 精神腫瘍科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 呼吸器外科 乳腺内分泌外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 小児外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 放射線治療科 麻酔科 歯科 歯科口腔外科 救急科 病理診断科

特徴

救命救急センター
小児救命救急センター
臨床研修指定病院
災害拠点病院(基幹災害拠点病院)
小児救急医療拠点病院
地域周産期母子医療センター
地域医療支援病院
熊本県ドクターヘリ基地病院
DPC対象病院
地域がん診療連携拠点病院
病院機能評価 3rdG Ver.2.0 (機能種別:一般病院2)および
付加機能評価(救急医療機能 Ver.2.0)認定
NPO法人 卒後臨床研修評価機構による
臨床研修評価認定

病院見学についてはこちら

<https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/special/resident/visit.html>



初期研修・専門研修 お問い合わせ先

応募、処遇に関して

人事課 人事係

TEL 096-384-2157(人事課直通)
FAX 096-384-3939
Email:zinzi@kumamoto-med.jrc.or.jp

プログラム、病院見学に関して

教育研修推進課

TEL 096-384-2111(内線6931)
FAX 096-384-2395
Email:rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp



熊本赤十字病院

JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
TEL.096-384-2111(代) FAX.096-384-3939
<https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/>

